

平成 27 年度聖ヶ丘教育福祉専門学校教員研修報告

平成 28 年 3 月 30 日

聖ヶ丘教育福祉専門学校教員研修委員会

1 職場内研修会の開催

(1) 学生の防犯に関する校内研修会

- ① 期日 平成 27 年 8 月 6 日(木)・7 日(金)
- ② テーマ 不審者対応防犯について(実務研修)
- ③ 対象 全教職員・学生
- ④ 講師 神奈川県保土ヶ谷警察署生活安全課署員
- ⑤ 連携内容 保土ヶ谷警察署員と事前の打ち合わせをし、学校に不審者が侵入した場合に、学生の安全を守るための教員・職員の役割や行動の仕方、学生は自分の身を守るために気をつけなければならないことなどをDVDの視聴の後、実際の動きを通した指導を署員から直接受けた。学校からは地域パトロールの強化をお願いし、今後の連携体制を図った。

(2) 学生相談対応に関する校内研修会

第 1 回

- ① 期日 平成 27 年 9 月 14 日(月)
- ② テーマ 発達障害の理解と学生対応について(指導力向上研修)
- ③ 対象 全教員
- ④ 講師 神奈川県総合教育センター教育相談課 指導主事
- ⑤ 連携内容 最近の学生の中には、発達障害のある者が増えているように感じる教員も少なくない。今回は、発達障害とはどんなものなのか、どのように対応していったらよいのかなどが、具体的に、ワークショップを通して学ぶことができた。特に、「困った子」から「困っている子」への切り替えを大切に、その子にあった支援を一步ずつ進めることが重要であることを強調された。

第 2 回

- ① 期日 平成 28 年 1 月 25 日(月)
- ② テーマ 学生相談体制の充実に向けて
～大学の現状を踏まえて～
- ③ 対象 全教員
- ④ 講師 横浜国立大学 准教授
- ⑤ 連携内容 専門学校としての学生相談体制づくりをめざしているが、隣接の大学の現状を参考にして進められたらとの願いから、先生の話が実現した。国立大学ではあるが、新入生には、1 年間の再教育が大切とのことから、カリキュラムを編成している話や大学の学生相談体

制などを具体的に話された。これから本校としての相談機能を如何に作っていったらよいのか、参考になった。

(3) 保健衛生校内研修会

第1回

- ① 期日 平成27年4月～5月の3日間
- ② テーマ AED操作研修会
- ③ 対象 全教職員
- ④ 講師 本校保健管理委員会委員
- ⑤ 連携内容 AEDの設置に伴い、毎年全教職員に対して操作研修を行い、もしもの対応に備えている。本校教員が、資格を有しているために毎年の実施が可能になっている。

第2回

- ① 期日 平成27年12月14日(月)
- ② テーマ 感染性胃腸炎の予防と対応(実務研修)
- ③ 対象 全教職員
- ④ 講師 保土ヶ谷区福祉保健センター 保健師
- ⑤ 連携内容 実習先等で、幼児の感染性胃腸炎が増え続けている中、学生へ感染を防ぐ対策や嘔吐物の安全な処理方法などを正確に伝えたいことから、地区の保健師と相談し、実際の処理対応やこれからの予防も含めた資料(DVD等)を用いた研修会を昨年より義務付け実施してきた。

第3回

- ① 期日 平成27年12月21日(月)
- ② テーマ 健康診断結果の評価と対処について(実務研修)
- ③ 対象 全教職員
- ④ 講師 船員病院健康管理センター職員
- ⑤ 連携内容 毎日学校において勤務している我々教職員は、毎年、健康診断を必ず受けている。しかし、その後の対処はいかなものか、不安である。講師には、日常校医として指導を受けている船員病院健康管理センターの先生にお願いし、診断結果の見方、対処の仕方などを具体的にお話していただいた。受診結果の気になる年代には、参考になった時間である

2 職場外研修会への参加

(1) 第16回日本子ども家庭福祉学会全国大会

- ① 期日 平成27年6月6日(土)・7日(日) 関西学院大学 西宮
- ② テーマ 子ども家庭相談体制の再構築と人材育成に向けて

～児童相談所、市町村、地域の連携と協力～ （指導力向上研修）

- ③ 対象 家庭福祉関係教員
- ④ 講師 厚労省前虐待防止対策室員
日本女子大学教授
西南学院大学教授
- ⑤ 連携内容 ・ネグレクト事例における健診・未受診の意味 ・社会的養護施設としての母子生活支援施設の存在意義に関する考察・子ども・子育て支援事業実施の切れ目ない支援における母子保健との連携ニーズについてなど、2日間に亘って有意義な研修が受けられた。

(2) 実務者研修教員講習会

- ① 期日 平成27年6月～9月の8日間 横浜
- ② テーマ ・ 介護教育方法
・ 介護過程の展開方法
・ 実務者研修の目的、評価方法（指導力向上研修）
- ③ 対象 介護福祉士養成校教員
- ④ 講師 公益社団法人神奈川県介護福祉会 研修センター指導員
- ⑤ 連携内容 介護福祉士を養成する立場の教員として、より指導の質の向上を目指し、参加した。教育方法理論を基礎として介護福祉教育における具体的な教授・学習内容について理解が深まった。また、介護実践のためのアセスメント、計画立案、実施、評価について、演習における具体的な展開保法が学べた。

(3) 保育教諭養成課程研究会

- ① 期日 平成27年6月7日（日） 和洋女子大学 千葉
- ② テーマ 幼児教育の現状と課題
- ③ 対象 保育教諭研究会会員教員 2名
- ④ 講師 文科省初等中等教育局幼児教育課員
大阪総合保育大学教授
東京家政大学教授
- ⑤ 連携内容 本研究会を通して、教育基本法第11条にもあるように、人格形成に大切な幼児教育の重要性を実感した。
幼児教育→遊びを通して様々なことを習得→考え・判断・行動その過程が重要。
感情体験→知識・技術・多様力・人間関係→積み重ねが人格形成に繋がっている→認め・褒めることの大切さ→安心感→より質の高い考え・行動が伴うことができる。

(4) 全国音楽大学教育学会

- ① 期日 平成 27 年 6 月 20 日（土） 東京
- ② テーマ 保育・教員養成における音楽
～新しい時代に向けて～（指導力向上研修）
- ③ 対象 音楽教育担当教員 2 名
- ④ 講師 日本幼児教育研究会会員
- ⑤ 連携内容 作って遊ぶ幼児保育教材「パネルシアター」の創始者の講師による、
講演とパネルシアターの熱演であった。アコーディオンの演奏が入り楽しい世界が展開された。

(5) 全国保育士養成協議会 54 回研究大会

- ① 期日 平成 27 年 9 月 23 日（水） 札幌
- ② テーマ 保育士養成施設における就職指導に関する研究
～学生の就職先決定に教員の指導・助言がどのような影響を与えるか～
（実務研修）
- ③ 対象 本校就職指導部教員 2 名
- ④ 講師 東京家政大学教授
- ⑤ 連携内容 保育には、時代や社会の変化に合わせていく「新」の側面とどんなに
時代や社会が変化しても変えることができない「真」の側面とがある。
わが国での保育を省みることで、その原点とは何かを今一度考え、保育
の「新」と「真」を見極めていくことが、今後のより良い保育に繋がっ
ていくであろうとの報告であった。

以下、その他の参加研修会名称のみ記す。

- 教育学関連諸学会共同シンポジウム（実務）
 - 日本教師教育学会（指導力）
 - 虚弱教育セミナー（実務）
 - 全国小児栄養研究会（実務）
 - 薬物乱用防止講演会（実務）
 - 造形教育研究大会（指導力）
 - 現代保育研究所研修会（実務）
- その他省略

3 自己啓発研修

以下、参加研修会名称のみ記す。

- 日本乳幼児教育学会（実務）
- 白梅保育セミナー（指導力）
- 神奈川県体育協会クラブマネージャー研修会（実務）
- 全国保養協関東ブロック大会（指導力）

- 子育て協会「佐々木セミナー」(指導力)
 - 日本介護福祉士養成施設協会研修会 (実務)
 - 全国小児栄養研究会 (指導力)
 - 日本介護福祉学会 (実務)
 - 日本社会福祉学会 (実務)
 - 日本発達心理学会 (指導力)
 - 日本介護福祉士養成施設協会研修会 (実務)
 - 日本森田療法学会 (実務)
- その他省略